



## 平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年5月8日

上場会社名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング 上場取引所 東  
 コード番号 2418 URL <http://www.tsukada-global.holdings>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田正之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 石原啓次 TEL 03-5464-0081  
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	10,757	△1.7	△165	—	△112	—	△128	—
26年12月期第1四半期	10,942	12.9	514	△8.3	573	△10.5	318	5.4

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 △267百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 307百万円 (△36.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△2.64	—
26年12月期第1四半期	6.51	5.81

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	66,130	28,198	42.6
26年12月期	67,269	28,710	42.7

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 28,198百万円 26年12月期 28,710百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,290	7.6	1,770	△10.7	1,780	△13.0	1,130	△8.0	23.14
通期	56,420	9.1	6,470	1.0	6,490	△3.3	4,200	△2.2	86.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期1Q	48,960,000株	26年12月期	48,960,000株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	131,534株	26年12月期	131,534株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期1Q	48,828,466株	26年12月期1Q	48,828,488株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
4. 補足情報 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加、雇用環境の改善、また原油安や株高のプラス効果から、景気は穏やかな回復基調で推移しておりますが、欧州や新興国における金融不安や景気の下振れ懸念等もあり、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような環境下において、当社グループはブライダル市場、ホテル市場並びにリラクゼーション市場における新しい価値の創造、高品質かつ魅力ある店舗づくりと付加価値の高いサービスの提供に常に積極的に取り組みつつ、個性化・多様化するお客様のニーズに的確に対応することで、売上高の拡大と収益性の向上に努めてまいりました。しかしながら、マーケット環境の変化等により、既存店舗の施行件数・受注件数が、前年同四半期に比べて大幅に減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,757百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業損失165百万円（前年同四半期 営業利益514百万円）、経常損失112百万円（同 経常利益573百万円）、四半期純損失128百万円（同 四半期純利益318百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ① 国内婚礼事業

当第1四半期連結累計期間においては、少人数婚礼は施行件数・受注件数共に順調に推移しましたが、既存店舗の施行件数の減少により、売上高は減少となりました。

この結果、当セグメントの売上高は6,365百万円（前年同四半期比13.7%減）、セグメント利益は255百万円（前年同四半期比75.1%減）となりました。

#### ② ホテル事業

当第1四半期連結累計期間においては、訪日外国人の増加等により、「ホテルインターコンチネンタル東京ベイ」、「ストリングスホテル東京インターコンチネンタル」共に順調に推移し、売上高の増加に貢献いたしました。また、平成27年11月開業予定のささしま事業所の受注件数も順調に推移いたしました。開業準備費用78百万円を計上いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は3,047百万円（前年同四半期比5.0%増）、セグメント損失は25百万円（前年同四半期は、セグメント利益37百万円）となりました。

#### ③ 海外事業

当第1四半期連結累計期間においては、マーケットは安定的に推移し、外国人挙式は増加いたしました。施行件数・受注件数共に減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は635百万円（前年同四半期比4.5%減）、セグメント損失は43百万円（前年同四半期は、セグメント損失49百万円）となりました。

#### ④ W&R事業

当第1四半期連結累計期間においては、マーケットは堅調に推移し、顧客単価・来店客数におきましても順調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は709百万円、セグメント利益は21百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,138百万円減少して、66,130百万円となりました。これは主に、敷金及び保証金の増加886百万円があったものの、現金及び預金の減少2,532百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ626百万円減少して、37,931百万円となりました。これは主に、借入金及び社債の純増額820百万円、前受金の増加534百万円があったものの、未払法人税等の減少1,225百万円、その他の流動負債の減少444百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ511百万円減少して、28,198百万円となりました。これは主に、利益剰余金の配当244百万円、四半期純損失を128百万円計上したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年2月13日付け決算短信にて公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法並びに割引率の決定方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更しております。

なお、当該変更による当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債、利益剰余金及び損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	13,441	10,908
売掛金	871	835
有価証券	4,214	4,232
商品	40	44
原材料及び貯蔵品	480	516
その他	1,922	2,400
貸倒引当金	△46	△44
流動資産合計	20,923	18,892
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	14,835	14,625
土地	11,023	11,028
その他(純額)	2,251	2,455
有形固定資産合計	28,109	28,108
<b>無形固定資産</b>		
のれん	2,805	2,738
その他	193	209
無形固定資産合計	2,999	2,948
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	3,920	3,988
敷金及び保証金	7,676	8,562
その他	3,695	3,673
貸倒引当金	△164	△157
投資その他の資産合計	15,127	16,067
固定資産合計	46,236	47,124
繰延資産	108	113
資産合計	67,269	66,130

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,327	2,081
短期借入金	—	260
1年内返済予定の長期借入金	2,426	2,481
1年内償還予定の社債	684	774
未払法人税等	1,634	408
前受金	1,188	1,722
ポイント引当金	18	—
その他	3,184	2,740
流動負債合計	11,463	10,469
固定負債		
社債	3,422	3,955
転換社債型新株予約権付社債	5,000	5,000
長期借入金	15,613	15,494
退職給付に係る負債	308	318
役員退職慰労引当金	681	657
資産除去債務	1,419	1,403
その他	650	632
固定負債合計	27,094	27,462
負債合計	38,558	37,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	472	472
資本剰余金	634	634
利益剰余金	27,238	26,865
自己株式	△88	△88
株主資本合計	28,256	27,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	167	83
繰延ヘッジ損益	7	—
為替換算調整勘定	282	234
退職給付に係る調整累計額	△3	△2
その他の包括利益累計額合計	454	315
純資産合計	28,710	28,198
負債純資産合計	67,269	66,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	10,942	10,757
売上原価	7,606	7,708
売上総利益	3,336	3,049
販売費及び一般管理費	2,821	3,214
営業利益又は営業損失(△)	514	△165
営業外収益		
受取利息	18	21
受取配当金	27	25
匿名組合投資利益	59	60
その他	29	18
営業外収益合計	134	126
営業外費用		
支払利息	53	56
デリバティブ評価損	18	10
その他	3	5
営業外費用合計	75	73
経常利益又は経常損失(△)	573	△112
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	21	1
店舗閉鎖損失	—	2
特別損失合計	21	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	551	△115
法人税等	235	12
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	316	△128
少数株主損失(△)	△1	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	318	△128



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	316	△128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△83
繰延ヘッジ損益	△16	△7
為替換算調整勘定	9	△48
退職給付に係る調整額	—	0
その他の包括利益合計	△8	△138
四半期包括利益	307	△267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307	△267
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内婚礼 事業	ホテル 事業	海外事業	W&R 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,375	2,901	665	—	10,942	—	10,942
セグメント間の内部売上高又は振替高	167	38	—	—	205	△205	—
計	7,543	2,939	665	—	11,148	△205	10,942
セグメント利益又はセグメント損失 (△)	1,022	37	△49	—	1,010	△495	514

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△495百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△508百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ホテル事業」セグメントにおいて、連結子会社の株式会社ベストグローバルが、ストリングスホテル東京インターコンチネンタルの運営に係る事業を譲受けました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては618百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内婚礼 事業	ホテル 事業	海外事業	W&R 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,365	3,047	635	709	10,757	—	10,757
セグメント間の内部売上高又は振替高	192	50	—	—	242	△242	—
計	6,557	3,097	635	709	11,000	△242	10,757
セグメント利益又はセグメント損失 (△)	255	△25	△43	21	207	△372	△165

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△372百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△378百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、従来「国内婚礼事業」に含まれておりました、八事事業所及びささしま事業所につきまして、報告セグメントごとの業績をより適正に評価管理するための管理区分の変更に伴い、「ホテル事業」に含めております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間の「ホテル事業」の売上高が395百万円、セグメント損失が67百万円増加し、「国内婚礼事業」の売上高が395百万円減少し、セグメント利益が67百万円増加しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

施行、受注及び販売の状況

(1) 婚礼施行実績

期別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)	前連結会計年度 (自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日)
セグメントの名称	施行件数 (件)	施行件数 (件)	施行件数 (件)
国内婚礼事業	2,068	1,835	9,873
ホテル事業	258	269	1,133
海外事業	585	485	3,025
合計	2,911	2,589	14,031

(注) 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度の数値につきましては、変更後のセグメントの区分に組み替えて作成しております。

(2) 婚礼受注状況

期別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)		前連結会計年度 (自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日)	
セグメントの名称	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)
国内婚礼事業	3,011	6,325	2,737	6,190	9,779	5,288
ホテル事業	358	774	533	1,109	1,304	845
海外事業	789	1,681	729	1,618	2,922	1,374
合計	4,158	8,780	3,999	8,917	14,005	7,507

(注) 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度の数値につきましては、変更後のセグメントの区分に組み替えて作成しております。

(3) 販売実績

期別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)	前連結会計年度 (自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日)
セグメントの名称	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
国内婚礼事業	7,375	6,365	35,023
ホテル事業	2,901	3,047	12,462
海外事業	665	635	3,458
W&R事業	—	709	747
合計	10,942	10,757	51,691

(注) 1. 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度の数値につきましては、変更後のセグメントの区分に組み替えて作成しております。

2. セグメント間取引については、相殺消去しております。

3. 金額には、消費税等は含まれておりません。